

熊本市 感染症発生動向調査 速報

現在の流行状況

感染性胃腸炎に気をつけましょう！

熊本市における第44週(10月26日～11月1日)の定点医療機関あたりの感染性胃腸炎患者報告数は、5.06人(定点数16ヶ所、患者報告数81人)で、前週(6.06人)より減少しましたが、例年よりも報告数が多い状況が続いています。冬場にはノロウイルスなどによる感染性胃腸炎が流行しますので、流水と石鹸でていねいに手を洗う・食品はきちんと加熱して食べるなど、感染予防に努めましょう。

伝染性紅斑(りんご病)の報告が増えています。

熊本市における第44週(10月26日～11月1日)の定点医療機関あたりの患者報告数は、1.13人(定点数16ヶ所、患者報告数18人)となり、前週(1.25人)より微減しましたが、報告が比較的多い状況です。伝染性紅斑(りんご病)は、5～9歳の学童に最も多く発生し、次いで0～4歳に多く見られる感染症です。頬がりんごのように赤くなるので、りんご病とも呼ばれています。

【伝染性紅斑(りんご病)について】

- 感染経路：咳のしぶきやくしゃみにより感染します。
- 症状：頬に発疹が出る7～10日位前に、微熱やかぜ症状などが見られ、1週間くらいでよくなることが多いです。発疹が出て、頬が赤くなるころには感染力はほぼ消えます。大人がかかると、関節痛や関節炎を起こすことがあります。妊娠初期の感染について、流産の危険性も指摘されています。
- 治療法：対症療法を行います。
- 予防方法：ていねいな手洗いとうがいを行いましょう。特に 妊娠している人は流行時には人混みを避けましょう。

期 間		平成27年 第43週		平成27年 第44週	
		10/19～10/25		10/26～11/1	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	0	0.00	0	0.00
RSウイルス感染症	➡	24	1.50	25	1.56
咽頭結膜熱(プール熱)	➡	5	0.31	2	0.13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	34	2.13	22	1.38
感染性胃腸炎 流行中	➡	97	6.06	81	5.06
水痘(みずぼうそう)	➡	2	0.13	1	0.06
手足口病	➡	7	0.44	4	0.25
伝染性紅斑(りんご病)	➡	20	1.25	18	1.13
突発性発しん	➡	11	0.69	15	0.94
百日咳	➡	0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ	➡	0	0.00	2	0.13
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	➡	6	0.38	6	0.38
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目) 警報レベル	➡	32	6.40	31	6.20
細菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	➡	1	0.20	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	➡	6	1.20	9	1.80
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	1	0.20	1	0.20